

軍械科

自昭和二年八月一日
至昭和二年八月三日

十特機密第
號

八〇

海軍武功記念員長殿

四月十日送付

第一支隊長隊伍時日誌

所管所屬	第一南遣艦隊
役務	
作戰部隊	

154

160694.

0715

四 目 次

一 經 過 現 狀 员 人
二 參 警 命 令 達 報 告 尊
三 訓 真 考 劍 戰 (一) (二)
四 會 理 経 劇 五 概 要 紹 作 战

六 生 衛 徒 務 醫

七 理 経 劇 會

(目次終)

0714

自昭和二年六月一日
至昭和六年六月三日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過

(一) 敵情

菲島方面、敵作戦、推移ハ關聯シ直接當地ヘノ交通妨害
ヲ強化シ潛水艦及航空機、出現特ニ著シク亦當地港灣及工
作施設ニ對空爆撃及機雷敷設ニ依ル直接交通破壊を行ハ
今後尚一層右ヲ強化スルノミナラズ機動部隊ノ來襲、算ナシトセ

(二) 我軍、情況

敵作戦意圖ニ對シ機雷掃海及防空攻擊及防禦ヲ一層整備
強化スルト共ニ昭南島防衛ヲ強化シシフアリ

(1) 編制(兵力部署)

(1) 一六日驅潛特四一號スマトラ油强行撤出作戦中当隊司令官、
指揮下ニ入ル

(1) 施設關係

(1) 一日アラスニ見張所設置為昭南發設營開始
(2) 二日ミリ交通保護部撤收完了

3 一二日一二二日 第四砲台構築

一三日一六日 第七群機銃陣地構築開始(月未迄未完成)

六日

第六群機銃陣地構築開始

(2) 對潛關係

租借區域(特ニ馬來東岸)内ニ於ケル敵潛、跳梁特六激化シ
前月、之回ニ對シニト五回ヲ算スルニ至レリ被害、主イルモノ左の
(1) 二日一四號海防艦被雷擊沉沒ノ四一一三〇四一ニ五ヶマン
約三十五哩(後擊沈確實)

(2) 二日第一九南進丸

被雷擊沉沒ノ四一〇三三三〇四一ニ五ヶマン
東北約五五哩

(3) 六日延元丸

被雷擊沉沒ノ六一三三〇四一ニ五ヶマン
東方約二二〇哩

0716

(二)

(4) 七月 大曉丸 被雷擊沉没
B29 二〇日 大善丸 被雷擊沉沒

(5) 二〇日 大善丸 被雷擊沉沒
B29 一九三〇年六月五日
島東方約四〇浬

航空機關係

B29 來襲頻度ヲ加ヘ昭南ニ來襲セリシ日ハ八日ヲ算スルニスギア
昭南空襲ヲ受ケタルハ左ノ如シ

(1) 一九三一年三月二九日二時二十分十九機來襲主トテ五萬噸洋船渠
爆擊同船渠沈没入渠中、知床沈没其、他工作部發電所、空
氣壓縮機破壊本隊宿舎ニ斬破損(復旧可能)其他宿舎敷
軒全壞又ハ破損セリ本隊關係人員兵器異狀ナシ

敵機教機ヲ擊破駆逐不可ノモノアリシ模様

(2) 二四日一三。一二五。間 B29 一六機來襲商港埠頭地區及第一造船
所焼夷彈一枚下埠頭倉庫及弐内(多少)火災アリ
軍港地區來襲又ズ教機擊破セリ

0717

(3) 六日 〇〇三七一〇二〇〇間 B29 機雷不水道及「番」四及「五番」^ニ蘇洋標附近合計約三。個，機雷ヲ投下敷設セリ。

(4) 機雷關係

ハシカ海峡及ヘルラ方面未だ洋遊機雷跡ヲ絶ズ。

前月二六日磁氣機雷ヲ敷設セラドテ以來之が掃海在シ左記ノ處分機雷アリタルモ亦触雷セルモアリ。六日未明更ニ約三。個ヲ敷設セラレ(前項)(3)參照)直ニ掃海開始セリ。

(5) 處分磁氣機雷敷

二月三日「オ」水道タングヨンガウ灯台、西〇度(六〇米)一個處分
二月四日「番」蘇洋標ノ東九〇度(三〇米)一個處分
二月五日「番」蘇洋標ノ西九〇度(三〇米)一個處分
二月五日「番」蘇洋標ノ東八〇度(云々米)一個處分
三月五度(一〇〇米)一個處分
三五度(一〇〇米)一個處分

四月七日「番」蘇洋標、

0718

二月九日 一眷浮標，一一〇度 一〇〇米 一個處分
 二月一〇日 「ヨコノルシヨール」桂灯浮標，八〇度 一五〇米 一個處分
 二月二七日 處分一個十合セ計八個、處分セリ

(2) 被害

二月六日 樺巒丸 一眷浮標三五度 一七五〇米 火災沈没
 二月六日 朝嵐丸 一眷浮標三九〇米 損傷
 二月六日 伊勢丸 一五度 一三〇米 損傷輕微
 二月六日 向日丸 一五度 一六二度二〇〇米 損傷ナシ
 二月八日 能美丸 一五度 六五度四六埋損傷輕微
 二月十五日 永川丸 一眷浮標，一〇〇度五〇米 損傷
 二月八日 東城丸 一六〇度 四五理 損傷輕微
 二月八日 東城丸 一六〇度 三九度九五理 損傷輕微
 二月二〇日 良榮丸 一五眷浮標，一〇〇度九八〇米 損傷輕微

0713

二月三日
新嘉坡
軍事會議
此挂軍標
四度五
損傷

(三) 作戰指導

(1) 作戰命令要綱

(1) 二十六日 昭南水域磁氣機雷敷設二對シ二月ヨリ四日迄第二次掃海

(2) ヒサン島附近リ不水道ヒア岬附近昭南西锚地及支那島附近航路
八日ヨリ十五日迄第三次掃海(主水路東口及西口及リ才水道)及二十日
ヨリ二十六日迄木ノスロウ前台北東航路上約八浬間

(3) アナバヌ群島シヤンヤ島三見張所(戍)設置、為關係者昭南發(日)

(3) 二十六日ヨリ約一週間、予定北支不水道強行搬出作戰施行本隊司令官指揮 參加兵力四千掃海隊驅潛特四(號)ヒラクン方面磁氣掃

海木浦為待機中

(4) 二十六日ヨリ不水道及主水路三機雷敷設二對シ掃海開始

(5) 哨戒掃蕩待機等

0720

(1) 河主不一此州南部、英謀者潛水艦にて脱出スト、諜報アリ五月
ヨリ八日迄東口アムバ地区を中心トシテ哨戒(特一夜間)也ル未成
果ナシ参加兵力獨田驅潜特四五及五五砲艇及大發各一隻又

(2) 沢木山州南部ブリキナ地区潜入、英謀取用討伐(六月十日)
丁日迄陸軍ト協力實施又本隊兵力舟艇又一小隊密照

根命令作第古號

(3) 二月三日夜ヨリ敵機ニ依ル昭南周邊水域機雷敷設暨視聽

初々配置入(種要昭南探據地隊命令第八號)

主水路	支水道	航	航	航	航	航
リ不水道	リ不水道	支水道	支水道	支水道	支水道	支水道
アリヤ水道	アリヤ水道	支水道	支水道	支水道	支水道	支水道
河主水道	河主水道	支水道	支水道	支水道	支水道	支水道
東北水道	A B C 水道	支水道	支水道	支水道	支水道	支水道
東南水道	福地中心附近	支水道	支水道	支水道	支水道	支水道

(八)

補給訓練及整備關係

- (1) 第六三號艦海練 六日至八日 入港修理
(2) 葵四號艦海練 八日至十四日 修理 整備
(3) 利九英二利九第十六長連九艦特九號三日入港修理 銃裝備
(4) 葵三號艦海練 八日至十六日 機器修理
(5) 第五號艦海練 八日至十四日 入港修理

原稿不鮮明

0722

0723

二 人 員 , 現 狀

(一) 職 官 官 氏 名

部		司		職		區 分		主		務		官		氏 名		記 彙			
附		令		副		參 謀		司 令 官		首 席 參 謀 作 戰 一 般		大 佐		少 佐		中 將		齊 藩 瑠 吉	
被 仰 付		附		附		參 謀		副 官		機 開 邊 輸 施 設 造 修		大 尉		醫 中 佐		今 村 傅		國 本 登 志 夫	
被 仰 付		參 謀		附		參 謀		副 官		首 席 參 謀 作 戰 一 般		大 佐		少 佐		中 將		齊 藩 瑠 吉	
軍醫長兼第六分隊長	主計長兼第七分隊長	醫中佐	大尉	少佐	大佐	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	
主計長兼第六分隊長	主計長兼第七分隊長	醫中佐	大尉	少佐	大佐	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	
主少佐	主少佐	堤	長渡	國太郎	大尉	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	齊藩	
主少佐	主少佐	桑原	盛鑑	國太郎	少佐	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	
少尉	少尉	大野	大野	國太郎	少佐	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	
大佐	大佐	細谷	大野	國太郎	少佐	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	
大尉	大尉	義男	尚志	國太郎	少佐	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	國太郎	
宮脇文雄																			

0724

備 警 工 陸

卷六

0725

0726

醫術

0727

空 防		主計料		附		附		附		附	
(台砲角高)											
附(被仰付)	防空隊附(高角砲長)	附(被仰付)	防空隊附(機銃群指揮官)	附(被仰付)	防空隊附(高角砲長)	附(被仰付)	防空隊附(機銃群指揮官)	附(被仰付)	防空隊附(高角砲長)	附(被仰付)	防空隊附(機銃群指揮官)
少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉
遠藤新一											

(台砲銃機)

0729

103

水 上 警 備 斜 (隊 信 通) (隊 警 水)

附	特勢艦指揮兼第三分隊士	兵曹長	田村	益藏
水警隊附	第三分隊士	兵曹長	松尾	明
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	金本	秋雄
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	野村	初次郎
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	宇都宮	傳
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	岡	貞夫
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	奥野	市太郎
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	小山	芳明
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	森	忠吉
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	武重	祐義
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	杉本	勝嘉
附	水警隊附兼第三分隊士	兵曹長	德三郎	

0730

0731

隊 這 洗 ガン

०७३२

0733

165

0734

第六十二號驅潛特務艦長	中尉	深澤	高代司
第六十一號驅潛特務艦	少校	譽長	山中
第六十一號驅潛特務艦	機官長	佐藤	龜吉
第六十一號驅潛特務艦長	少尉	渡邊	忠
第六十一號驅潛特務艦	少尉	高島	德太郎
第六十一號掃海特務艦	少校	川邊	鶴太郎
第六十一號掃海特務艦	機官長	鈴木	義太郎

下太官無及其他的貢穀二月一日現在

兵種	兵科	機關科	工作科	督護科	主計科	總額
員數	三八	八四	一三	二三	五〇	八〇九
備考	右員數八九隊員各派遣隊伍待務班員合公山					
種別	下士官	特准	下士官	兵	其，他	合計
員數	二六	五七	四五五	八〇七	三〇	一三七五
記事	右員數八十通五港昌德三四帶一五配行六三國海防八對八分					

三令連報告等

(一) 無電、部

發 日 時	受 泡(通報)	令 連 報 告 等
二月四日 10ABG	昭南第ニ見置隊 リシガ海運隊	五日六〇〇ヨリ河 水道、鉄船航行 禁示ヲ解除入
八月四日 10ABG	十特根水路告示第五號 南支那海航行總規範 第三カ海門在總規範 IEP 2CE 2YB 在PP	十特根水路告示第三號及第四號 二、航法左記外十特根水路示第三號及第四號 通リ第三カ海峽方面ヨリノ入港船ハアラガ 灯台及カラマン島可及的接航同島南端 ヨリサルシヨール灯台六八度ニ視之向首 航行一海浮標ヲ九〇度ニ見シニ至ルハ之向 首航行ノ海浮標、南側ニ至ル
二月六日 10ABG	十特根水路告示第六號 水道鉄船航行禁示	

0730

二月十二日

P
IKF

15 BG

A

100 BG

A

西方面隊電令作第ニ九號

左ニ依リ北支那油強行搬出作戦ヲ実施入
一期日二月十六日ヨリ約二週間

二護衛指揮官並二護衛艦昭南根據地部
隊指揮官四四帝九特拂駆潛特由一

三油槽船三乃至五隻

四間接護衛指揮官並兵力

彼南根據地隊指揮官

驅潛艦水偵其他指揮官所定

五本作戰期間中驅潛特四八時昭南

根據地部隊指揮官指揮下ニ入ル

六昭南根據地部隊指揮官八船團行動予定

ヲ速ニ彼南根據地部隊指揮官二通報スハシ

0737

107

Δ 10ABg 八月十五日	A 10ABg 八月十四日
55 南支那海 三方海防在艦船	44 利九 九特 駆潛特 21Cg
15DGP 9365GP 1101A 1533ペラン 三船同帆南航	1KEP 15DGP 9365GP 1101A 1533ペラン 三船同帆南航

昭南根電令作第八一號

西方面隊電令作第三九號關聯

一、第十四海防隊九特掃及駆潛特四二各
十六日三十日昭南發予定，入ロ二及ス。

二、三船團護衛任ベシ

三、駆潛特四八、一等礁附近三行入。二船團合
同スベシ

三、兩船團護衛，中間ハ不一ノセサシノムレ於
テ停機スベシ

四、水道鉄船航行禁示ヲ解ク

十、特報水路告示第ニ號

0738

0739

0740

六日 一〇三八	十日 一〇三〇	十六日 一一一五	二十一日 一一一五	二十六日 一一一五	三十一日 一一一五	四月一日 一一一五
西部方面南隊 司令長官	根 司令官	八・十軍司令官八・左軍二後リ作業員ヲ派出シ昭南運輸 部長指揮ヲ受ク緊急輸送物件 楊格作業	一・一・五 敗戦戒厳令解除	八・六・五 敗戦戒厳令解除	八・三・五 敗戦戒厳令解除	八・一・九 敗戦戒厳令解除
八・一・九 工作部長	八・一・九 施設部長	八・一・九 航空警衛	八・一・九 工作部長所定	八・一・九 施設部長所定	八・一・九 航空警衛所定	八・一・九 工作部長所定
(一) 派出場所 連絡部長所定	(二) 派出場所 連絡部長所定	(三) 派出場所 連絡部長所定	(一) 派出場所 連絡部長所定	(二) 派出場所 連絡部長所定	(三) 派出場所 連絡部長所定	(一) 派出場所 連絡部長所定
八・一・九 工作部長 八・一・九 施設部長 八・一・九 航空警衛						

0741

"一一四〇	"一一四一	"一一四二	"一一四三	"一一四四
船舶分散疎開便日也	船舶分散疎開便日也	船舶分散疎開便日也	船舶分散疎開便日也	船舶分散疎開便日也
船名陸上各半長	船名陸上各半長	船名陸上各半長	船名陸上各半長	船名陸上各半長
十一月一日	十一月一日	十一月一日	十一月一日	十一月一日
煙幕展張準備之上ノイ	煙幕展張準備之上ノイ	煙幕展張準備之上ノイ	煙幕展張準備之上ノイ	煙幕展張準備之上ノイ
"一一五〇	"一一五一	"一一五二	"一一五三	"一一五四
一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除
十三日	十四日	十五日	十六日	十七日
"一一五四	"一一五五	"一一五六	"一一五六	"一一五七
一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令
"一一五八	"一一五九	"一一六〇	"一一六一	"一一六二
一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除
十四日	十五日	十六日	十七日	十八日
"一一六〇	"一一六一	"一一六二	"一一六三	"一一六四
一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令
"一一六五	"一一六六	"一一六七	"一一六八	"一一六九
一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇空襲警報發令	一一五〇空襲警報發令	一一五〇空襲警報發令
十四日	十五日	十六日	十七日	十八日
"一一六〇	"一一六一	"一一六二	"一一六三	"一一六四
一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇空襲警報發令	一一五〇空襲警報發令	一一五〇空襲警報發令
"一一六五	"一一六六	"一一六七	"一一六八	"一一六九
一一五〇警戒警報解除	一一五〇警戒警報解除	一一五〇空襲警報解除	一一五〇空襲警報解除	一一五〇空襲警報解除
十五日	十六日	十七日	十八日	十九日
"一一六〇	"一一六一	"一一六二	"一一六三	"一一六四
一一五〇警戒警報發令	一一五〇警戒警報發令	一一五〇空襲警報發令	一一五〇空襲警報發令	一一五〇空襲警報發令

0743

170

十三日	一六三〇	十五日	一六三三	一一五〇 空襲警報發令
"	一六三五	"	一六三六	各部煙幕展張令
"	一六三八	"	一六三〇	一三二八 空襲警報解除
"	一四〇〇	"	一四〇六	煙幕展張ヲ復旧令
"	一四〇四	"	一四〇四	一四〇四 警戒警報解除第三阶段空配備トナセ
十四日	一八〇七	"	一八〇八	一一〇〇 警戒警報發令
十日	一八〇九	十一日	一八一〇	一一二五 空襲警報發令
十日	一八〇九	十一日	一八一〇	一一二〇 空襲警報發令
"	一八一〇	"	一八一〇	一一二〇 空襲警報解除
"	一八一〇	"	一八一〇	一一二〇 警戒警報解除
"	一八一〇	"	一八一〇	一五六船舶令散疎開準備ヲナメ
"	一八一〇	"	一八一〇	一八一〇 船舶令散疎開ナシ
"	一八一〇	"	一八一〇	一一一〇 煙幕展張準備ヲナメ

0744

0740

二十八日〇三八九	十特根水路告示等八號 昭和九年機昭南三水路等不以水道磁氣機雷ヲ 右水路鉄船航行可禁止	十特根水路告示等八號 昭和九年機昭南三水路等不以水道磁氣機雷ヲ 右水路鉄船航行可禁止	十特根水路告示等八號 昭和九年機昭南三水路等不以水道磁氣機雷ヲ 右水路鉄船航行可禁止
十一月三日〇三二〇	支那海防部長 軍械部長在部長 不 ^ノ 南道司令長官	支那海防部長 軍械部長在部長 不 ^ノ 南道司令長官	支那海防部長 軍械部長在部長 不 ^ノ 南道司令長官
"〇九三〇	駆潛特四五五五號 通報	駆潛特四五五五號 通報	駆潛特四五五五號 通報
一月二十八日〇九六一	支那海防部長 詳細事項ハ口達入	支那海防部長 詳細事項ハ口達入	支那海防部長 詳細事項ハ口達入
六日	令連報合等	令連報合等	令連報合等
一月二十八日〇九六一	初鷹磯密等三號 支那海防部長次級官設報合其一 王英巴(不分省略)	初鷹磯密等三號 支那海防部長次級官設報合其一 王英巴(不分省略)	初鷹磯密等三號 支那海防部長次級官設報合其一 王英巴(不分省略)

0747

172

			一日二十八日
			二十九日
一月二十九日	三日	三船馬支作命甲昇九號其二 等三船舶輸送司令部馬來支那部命令 一部八三船昭作命甲昇二十七號ニ據テ第十特別根據 地隊實施正掃海作業ニ陽力スル外更ニ別動隊 ヲ編成シ昭南港周辺海面(主トヨタケツベツ水道)撃滅 ヲ實施セント(以下省略)	三船馬支作命甲昇九號其二 等三船舶輸送司令部馬來支那部命令 一部八三船昭作命甲昇二十七號ニ據テ第十特別根據 地隊實施正掃海作業ニ陽力スル外更ニ別動隊 ヲ編成シ昭南港周辺海面(主トヨタケツベツ水道)撃滅 ヲ實施セント(以下省略)
一月三十日	三日	機密第「南遣艦隊命令」昇一七號 第一南遣艦隊命令 第十特別根據地隊司令官ハ成ルベシ遂ニ大發舉ヲ 利用各種魚雷艇實驗發射コガリ、施入ベシ 第「昇百一海軍工作部長昇百一海軍十軍需部長 石作業ニ協力スベシ	機密第「南遣艦隊命令」昇一七號 第一南遣艦隊命令 第十特別根據地隊司令官ハ成ルベシ遂ニ大發舉ヲ 利用各種魚雷艇實驗發射コガリ、施入ベシ 第「昇百一海軍工作部長昇百一海軍十軍需部長 石作業ニ協力スベシ
		機密西部方面部隊命令作第「號 西部方面部隊命令(三級作戰兵力部署) (本文省略)	機密西部方面部隊命令作第「號 西部方面部隊命令(三級作戰兵力部署) (本文省略)

0740

			昭南根據地部隊 司令部
		一日	
			第十特別根據地隊機密第十六號 機密昭南根據地部隊命令第十七號昭南諸武器 等二次掃蕩實施計畫(別紙省略)
			第十特別根據地隊告示第十三號
			一、本職旅行，途次昭南而往之准士官以上(同待遇)， 文官(局託者)舍ムノニ行之機密第十八號艦隊命令 令符(第一號所定事項指示入白連)
			二、昭南ニ到着セラ准士官以上ハ速ニ第十特別根據地隊 司令部ニ秉着シ所要事項ヲ由サ前爾後、行動 連絡等三閑シ本職指示ヲ承ケルモトス
			三、昭南所駐艦船部隊廳ヨリ、起仕者ハ其發決定 >前日迄當該艦船部隊廳ニ於テ服勢又之トス 機密第十方面艦隊法令第十三號
		五日	第十方面艦隊無線通信用程別冊(通定ム) 附令本規程，實施期日ヲ一月五日トス(別紙省略)
		十一日	令長官
			第十方面艦隊

0749

				機空第6回送還隊命令並回證 第一回送還隊命令
				一 西南緊急場格實施規程別紙之通定（別紙省略） 二 第二回送還隊各處區各港等之緊急場格之本地 三 軍用所在最高指揮官之決定之ノトス
				機空西部方面部隊命令（作第2號） 西部方面部隊命令（主鏡作戰兵部著） （本文省略）
				機空昭南根據地部隊命令（作第1號） 西南根據地部隊命令
				一 情報表（木下ヨシ木一少尉ヨシ木三等兵他） 者右干名簿（二月五日）出廠等大體大連客船アリセイ 如シ（以下省略）
				昭防作命甲第六十九號 昭南根據地命令（本文省略）
				昭南根據地命令（本文省略）

0750

			九日
			機密昭南根據地部隊命令作第十四號
			昭南根據地部隊命令
			（三月不レ州南哥コリ子六地区脅入セ、英謀者團覆滅ヲ期、所レ陸軍警備部隊及官公兵隊ハ、首十月ヨリ約五日間、議定シテ討伐作戦ヲ實施ス（以下省略）
		十三日	
第十六方面艦隊司令長官	第十六方面艦隊司令		
			機密第十六方面艦隊命令稿第2號
			第十六方面艦隊命令
			（在昭南（ハニヨル）各部隊（一列紙奉領ニ表リ）シテ此航空甚速地空備促進ニ協力スヘシ（別紙有略）
			機密第十六方面艦隊命令稿第2號
			第十六方面艦隊命令
			第十六方面艦隊通信諜報實施計畫副稿、通定書
			（別紙有略）

0751

174

		昭和一海軍造艦隊司令官(第25號)
	十六日 第一海軍工作部 第一南支那隊司令 機密第194。備電別紙(三種)昭南及海南 各航空基地既設魚雷調整外施設ラ速ニ達道 内(又ハ海上分敷)ニ移装入ハシ 第1特別根據地隊司令官及第5根據地隊司令 官ハ石工事ニ協力スベシ	第1海軍工作部長 第一南支那隊司令 機密第194。備電別紙(三種)昭南及海南 各航空基地既設魚雷調整外施設ラ速ニ達道 内(又ハ海上分敷)ニ移装入ハシ 第1特別根據地隊司令官及第5根據地隊司令 官ハ石工事ニ協力スベシ
十五日 昭南根據地部隊 指揮官	機密昭南根據地隊司令官八號 昭南根據地部隊司令官八號 一敵機、昭南水域主要水路三對スル磁氣機雷封 鎖ハ今後益強化セラルベシ	機密昭南根據地隊司令官八號 昭南根據地部隊司令官八號 一敵機、昭南水域主要水路三對スル磁氣機雷封 鎖ハ今後益強化セラルベシ
	昭南諸水路確保栗領別紙一通定ム 司政省監	昭南諸水路確保栗領別紙一通定ム 司政省監

0752

0753

二十一

卷八

部於面奇隊零令作等四

各種標記

成內森碑

感作命令第四四五號ニ基テ
各根據地隊指揮官、陸上防衛隊隊長、海軍司令
令官以下同ニ三閏ヲ天皇所駐方面軍(軍)司令官指揮
ヲ承ワルト共、獨在各警備隊巡邏ノコニテ當該防衛
時機ヲ三月廿零時トス

各局地於京師陸海軍先後指揮官及陸工司等
所駐陸海軍部隊之總指揮一員三司六人

機密 謝南根據地部隊命令第十九號

西蜀根據地部隊
指揮官

（二月八日）○○B-19 約九成
（正音掌標ヨリナニギト所持三至ル間）又昭南主水
路（西音掌標ヨリ東口ニ至ル間）ニ磁氣機雷約三七
個（投下セリ）
（掃海隊指揮官ハ第海隊人全力ヲ擧ケ左記
（第三）深三之ガ掃海ヲ當セ也）（元省略）

五、作戰經過概要

四

天
風
向
風
連
氣
溫
視
界

一 般 佐 使 势

卷之三

行
動

王東坡集

記事

025

六醫務衛生自昭和三十年二月一日至昭和三十一年二月二十八日第十特別根據地隊

第一省略

官	名	異動日付	記	事
衛長	岩本一雄	二十九	吳團三防空隊附上等入隊	
上衛	寶泉教雄	二〇		
全	大西秀臣	企		
全	若佐義範	企		
全	辻信夫	企		
小山田富治郎	二	二三	昇團ヨリ照空隊附トシテ入隊	

0756

三天候、概要並氣象、衛生的影響

二月中、於ケル氣象、次表、通シテ一ヶ月平均正午氣溫及二月中平均一日中、最低氣溫、共ニ前月ト同。溫度ニシテスコールモ同一、乃至數回、龍巣シ前月ト大差ナ、凌ギ易ク経過セリ。

氣象表(正午東京時間依ル)

三月中天候	二月中	氣	壓	溫	濕度%
晴天	一	最高	七五八・八	三〇・〇	九五
曇天	二	最低	七五六・五	二三・三	六三
	二 百平均		七五七・四	二七・九	七五

三月日所在及任務行動、概要

既報ト大差ナシ

四出征中、於ケル治療品、被服、糧食、飲料水、其他衛生、關係アル物品

三關係アル事項並、搭載補給、概要

0757

一 治療品に関する事項

二月 守護の治療品、交換、消耗別表第一表、通但、受入八部、三ヶ月分

予約請求及臨時請求、令、合へ

二) 被服、糧食、飲料水、其他衛生關係之物品

前月 大臺丈

一) 略務科治療施設新設、改造、概要

地下治療室新設中

□型三五×一平方米、石工事中、三月下旬頃完成、予定

(二) 治療品分散、倉庫

從未三所三分散、運送を差更、防寒標内=倉庫ヲ設ケ、當病舍内

在庫品ヲ全部同所へ移シ、各自定用、令、梯子スコト、セツ

口現治療室、於テ使用中、備品、消耗品、棄品共、各用途別、密納
箱ヲ作リ、之ヲ一步ル、施療ニ即時退避、便ナラシメタリ

178

0758

179

0760

罹病地不詳	八		
		二四	二
		一	五
		四	三
		二	五
		八	一九
		五七	
		一八	一八
		三	八
		二	四

七、被服防寒、防熱換氣、入浴等衛生體^{セイ}育^{スル}事項

既報同上

八、寄港地、舍營地、占領地、衛生狀況

昭南軍港地已、衛生狀況六項記述、通

尚昭南市及司島^{シマ}於二月仲传染病、發生狀況（昭南市防疫課調査）、別表第二表、通^{ニテ}、旨不^ハ此^シ而於二月仲傳染病地方

病發生狀況（旨不^ハ州衛生課調查）八別表第三表、如^シ

九、傷病防止防疫其他保健關入事項

既報外左記事項、實施^シ

一、檢疫二月仲船舶十隻人員二〇四七名

0761

(イ) 檢疫船舶中門司ヨリガラニ(灣)備印經由二月十三日入港、東亞丸ニ下痢

患者三十三名一リタル以テ船内、消毒並、患者、隔離總員檢便等
實施、處全部陰性ニ終熄セリ

(ロ) 同門司ヨリ西貢經由二月二十六日入港、良榮丸流行性腦脊髓炎患者
一名アリ即時百病ニ遠境不山ト共、三乘員、健康診斷消毒等實施、處統
發ナク終熄セリ候車、經路不詳ニテ西貢出港時發病二日ヲ経過セリ

(ハ) 昭南軍港在泊中、軍艦高雄、細昌、枉赤病散發シ、アルニ付生有ヨリ
軍港水域海水使用ヲ禁止セリ

十.衛生三關スル諸検査、概要

一 飲料水検査成績 別表第四表、通

(イ) 月例検 便施行(諸役員烹炊員水交社客集會所從業員時業員)
處特需員一名(營業主)赤痢菌(下型)保育者ト診定依テ同所ヘ立入ラ
禁止ニ消毒並、捺便實施中、處更ニ同月平日同所使用人一名赤痢菌

(下型) 保育者ト診定依シ防疫作業統行處統發ヲ終思セリ

(三) 月例身体検査施行發見患者十

十一、醫務衛生課スル令達報告大要

「令達」部

接受月日	發令書	類名
二 二 三	三 軍 艦 隊 軍 醫 長	書 類 名
四 六	第 一 南 遣 艦 隊 軍 醫 長	書 類 名
二 六	第 二 南 遣 艦 隊 軍 醫 長	書 類 名
一 八	海 軍 省 醫 務 局 長	書 類 名
一 八	第 一 南 遣 艦 隊 軍 醫 長	書 類 名
一 八	第 二 南 遣 艦 隊 軍 醫 長	書 類 名
一 一	病 狀 報 告 省 聯 署 名 等 等	書 類 名

0763

二、一三 第南遣艦隊軍医長

佐梨病癥報告

軍医長會報衛生狀況
傳染病發報書

二、一六 第四補充部長

公務確病者名簿

二、一七 第十特別根據地隊司令官

檢疫報告書

二、一八 第一南遣艦隊軍医長

傳染病發報書

二、一九 第一南遣艦隊軍医長

檢疫報告書

二、二〇 第一南遣艦隊軍医長

檢疫報告書

二、二一 第十特別根據地隊司令官

患者日錄同月報

二、二二 第一南遣艦隊軍医長

戰時軍事月報

二、二三 第十特別根據地隊司令官

戰時日誌

二、二四 第一南遣艦隊軍医長

伝染病發報書

二、二五 佐々木及吳國軍医長

在院患者送籍件通知

十二、兵員、勞動慰勞休養等、概要

0764

前月同上

三 教育訓練 關心事項

既報同上

第三第四時記事項

別表第一表

治療品受擲表

受入部 (消耗品)

革 拭 クリー ム	懷 爐 灰	鉛 筆 計	綱 副 子	綱 副 子	眼 鏡 副 子	九 九 割 入	割 入
膏 藥 入	糸	ブリセリ 灌腸器	キ フ ス 副 子	帶 子	帶 子	回 把	回 把
二	一	四	五	二	一	一	一
三十	三十	三十	二十	二十	五	三	三

181

コ	ニ	ツ	ト	コ	ニ	ツ	ト	コ	ニ	ツ	ト
ゴル	絆創膏	石割	ゴル	ゴル	絆創膏	紙	ゴル	ゴル	絆創膏	石割	ゴル
指サツノ	木綿	綿縫	綿縫	尿道	注射器	脱脂	脱脂	尿道	注射器	綿縫	尿道
洞	反	它	花	洗	合	綿	綿	洗	合	綿	洞
五	一〇	一〇	一〇	四〇	二五	五	五	四〇	五〇	二五	五〇
運	織	糸	葉	防	水	冰	尿	注	射	刺	削
副	綴	名	名	綿	フ	ラ	ラ	シ	針	才	才
子	子	縫	縫	フ	ラ	シ	ラ	シ	針	ハ	ハ
但	把	米	組	板	枝	囊	器	器	但	板	把
三〇	三〇	三〇	三〇	五〇	五〇	一〇	五	五	五	二五	二五

.0766

0767

0768

アラカル酸	四〇							
ナシトニン鍼	四〇							
重炭酸ソーダ	五〇							
スルマニ製剤	五〇							
ヨードカリ	五〇							
薄荷精	一〇							
アルテイン銀錠	二五	五〇	二五	二五	二五	二五	二五	二五
硫酸マグネシウム	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ガリウム錠	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
次硝酸倉錠	一九〇							
スルアミ製剤	二九							
アントラバスター	七五〇							
葡萄糖注射液	二〇							
ヨドホルム	一〇							
リゲルロ通潤液	二							
コリト坐剤	一〇							
ビタミン錠	二〇							
プロカルシウム錠	二五							
ビタミン創薬液	一〇〇							
マニモシ創薬液	一〇〇							
巴布剤	二五							
消化錠	五〇							

0763

液量計									
木綿	三字綿帶包	防水袋	尿道注射器	主射針	石綫	ゴム絆創膏	ゴムシブ	眼帯	ガーゼ
反羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚
九	一一二	二〇	二五〇	一〇	一二	二	五	〇五〇	一
指サック	綿アラカル	高縫合針	尿夕才	刺器具	ゴム管	膏薬入	硫黄薬	火薬	鉛筆
羽米	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚	羽枚
二	三	一〇	五一	一〇	二	二	五	一〇	一〇

0770

0771

0772

०७७३

0775

七 會計經理

金金

經費出納，概要

前月ヨリ越々高
本月受入高

五六六六八八八〇

三二〇月

五、六、三月五八
九、二〇月八八
四、一一一月五八
九、二九

本月庚入高
木月支出高
殘

(四) 增俸及增給

增俸支岀高

以償勞役債

三三四、五。二月十九日
一、八。九月二〇〇〇
九月五、一三、六八〇〇

0776

(二) 被服

(4) 被服物品拂出高

ל'ז

175

戰	福	金	公	脚	禪	袴	帶	兵	靴	帶	下
主	其	夏	夏	青	下	袴	皮	禪	其	帶	下
帽	其	禪	其	色	軍	下	皮	其	禪	組	組
個	組	個	個	鮮	下	個	個	個	個	個	組
一	一	一	四	三	八	九	三	三	二	四	八
八	九	一	六	十	三	一	一	一	一	二	三
九	十	二	三	四	八	三	一	一	一	三	三

0778

0779

0780

0781

189

0782

0783

189

品名		稱呼		数量		品名		稱呼		数量	
粉	米	豆	粉類	砂	豆	植物油	糖類	鈔	乾	乾糧	調味用乾魚
粉 米 牛乳	粉 米 豆	豆	粉類	砂 植物油	豆	植物油	糖類	鈔	乾	乾糧	調味用乾魚
立	立	立	立	立	立	立	立	立	乾	乾糧	調味用乾魚
三 三 〇	一 一 五	四 二 〇	一 一 〇	三 三 〇	一 一 〇	一 一 〇	三 三 〇	六 〇	六 〇	六 〇	一 一 五〇
〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇
混用食		品名		稱呼		数量		品名		稱呼	
金詰 牛丸	金詰 野菜	金詰肉 野菜	金詰味付 魚肉	金詰味付 獸肉	金詰味付 魚肉	乾	乾糧	乾	乾糧	乾	乾糧
立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立
一 一 〇	四 三 〇	八 五 二	三 六 五	六 〇	六 〇	一 一 〇	一 一 〇	六 〇	六 〇	六 〇	一 一 五〇
〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇

0784

クラン派遠隊陸軍部隊ヨリ受入高

(二) 生糧品受入高	砂糖	肚	五〇	味	新穎物	肚	八九五三	醬油
無骨生獸肉	肚	六四六九	〇〇〇	味噌	肚	八五五	立	三一五〇
骨付生魚肉	肚	八八之四	〇〇〇	新穎物	肚	六五	立	三一五〇
鹽魚肉	肚	四七八四	〇〇〇	味噌	肚	八五五	醬油	立
生野菜	肚	四一〇〇	〇〇〇	味噌	肚	八五五	醬油	立
ラン飯造隊陸軍部隊より受入高	味噌	六〇三〇〇〇	〇〇〇	新穎物	肚	六五	立	三一五〇
生野菜	肚	六四	〇〇〇	味噌	肚	八五五	醬油	立
生魚肉	肚	八八〇〇	〇〇〇	味噌	肚	八五五	醬油	立
生野菜	肚	一五〇〇	〇〇〇	味噌	肚	八五五	醬油	立

(四) 霽品

(1) 備品貨與品受入高

盤		荷	同	同	兵食	名	茶	兵食	計	配	品
		魚	小	中	羹	薄	瓶	匙	杓子	食鍋	名
		個	個	個	個	個	個	個	個	呼	
二	一	一	七	七	五	二	二	六	七	四	英高
二	一	一	七	七	五	二	二	六	七	四	英高
二	一	一	七	七	五	二	二	六	七	四	英高
										計	
										記	
盤		名	汁	小	中	計	飯	利	湯	兵	品
		盤	杓子	中	四	四	碗	身	吞	食	名
		個	個	個	個	個	個	個	個	個	呼
二	二	三	二	二	二	二	二	二	二	五	英高
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	六	英高
二	二	五	二	二	二	二	二	二	五	七	英高
										計	
										記	

0786

正火發人	右	同	同	肉	蒸	蒸	煎
備品	小	角	角	載及大	鍋	鍋	鍋
貿易品	個	個	個	大	中	中	大
六	八	二	三	一	四	五	八
證明書	口	二	三	一	一	一	一
同證	口	二	二	一	一	一	一
星吳	高	一	二	一	二	四	五
計	高	二	三	一	二	四	八
記事							
品名		陸戰用機	陸戰用機	防空暗器	防空侵擾	糧食大	洗面鉢丙
個人	個	個	個	枚	枚	個	個
八	八	六	三	一	三	四	五
證明書	口	二	三	五	五	五	六
同證	口	二	三	五	四	三	八
星吳	高	六	三	三	三	五	八
計	高	六	三	五	四	三	八
記事							

190

0788

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>